

<速報>

\* 7月1日夜、バングラデシュの首都ダッカで外国人に人気のあるレストランに武装集団が侵入、客ら30数人を人質に立てこもったが、同国治安部隊が武力突入して13人を救出。日本人7人を含む20人が死亡。実行犯6人は射殺され、1人は拘束された。「イスラム国」系メディアが「外国人を含む24人を殺害した」と声明。実行犯7人は20～28歳のバングラデシュ人の学生で、いずれも裕福な家庭出身。

\* 7月3日、イラクの首都バグダッド中心部の商業地区カラダの繁華街で市民を狙ったとみられる自動車爆弾が爆発、またバグダッド北東部シャアブでも簡易爆弾が爆発、213人が死亡、200人以上が負傷した。「イスラム国」が犯行声明を發出。

\* 7月3日までにイスラエル政府は占領地東エルサレムとその周辺に800戸の入植者住宅の建設を承認した。入植者住宅はエルサレムのアラブ人居住区に600戸のパレスチナ人住宅を建設することと抱き合わせか。

\* 7月4日、サウジアラビア西部ジッダにある米国総領事館近くで男性が自爆し、警備員2人が負傷した。犯行声明は出ていない。

\* 7月4日、イギリス独立党（UKIP）のファラージ党首が党首を辞任すると発表。「イギリスをEUから離脱させるのが政治家としての目的だった。自分の役割を果たした」と説明した。欧州議員は辞職しないという。

\* 7月4日、コロンビアのFARCのヒメネス幹部が地元通信社ともインタビューで「FARCへの要員勧誘は3ヶ月前にやめた」と公表した。

\* 7月4日、サウジアラビアの西部ジッダの米国総領事館近くで爆発があり、さらに西部のシスラム教聖地メディナ（治安要員4人が死亡）と東部カティーフでも礼拝所の近くで自爆とみられる爆発が相次いだ。

\* 7月4日、マレーシアのカリド警察庁長官がスラゴール州プチョンのパブで6月28日に爆発があり8人が負傷した事件に「イスラム国」が関与したことを確認したと公表した。

\* 7月5日、中国の習近平国家主席が中国を訪問中にギリシャのチプラス首相と北京で会談し、ギリシャ最大のピレウス港の開発を支援していく方針を確認した。

\* 7月5日、国連のパン・ギムン事務総長がイスラエル政府が占領地である東エルサレムとその周辺に800戸の入植者住宅の建設を承認したと報じられたことについて、報道官を通じて「強く批判する」とした声明を発表した。

\* 7月5日、フランスのバルス首相が解雇規制の緩和などを狙う労働法改定案、通称「エルコムリ法案」について、憲法の規定を使い、議会採択を行わずに強行採択した。法案は再度上院に送られる。

\* 7月5日、シリア北東部ハサカのクルド人居住区でバイクに爆弾を積んだ男が市民が並んでいたパン屋前で自爆し、少なくとも16人が死亡、40人が負傷した。「イスラム国」系列の通信社「アマク」は「殉教作戦」だったと伝えた。

\* 7月5日、国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）がイラク軍が「イスラム国」から中

部ファルージャを6月に奪還した作戦をめぐり、政府軍に加わったシーア派民兵組織が拉致した住民約900人が行方不明になっており、49人が殺害された恐れがあると発表した。

\* 7月5日、米国ルイジアナ州で黒人男性が2人の白人警官に射殺される事件が発生。6日同州のエドワーズ知事は司法省が当時の状況について捜査すると発表した。

\* 7月6日、イギリスのブレア政権が2003年にイラク戦争に参戦した経緯や侵攻後の占領政策を検証した独立調査委員会（チルコット委員会）が報告書を公表、参戦の決断を「(フセイン政権の) 武装解除の平和的な方策を尽くす前に侵攻に参加した。軍事行動は当時、サンゴの手段ではなかった」と断じた。

\* 7月6日、米国ミネソタ州ファルコンハイツで乗用車に乗った黒人青年が警官に止められ、射殺される事件が発生。助手席に乗っていた交際相手の女性が直後からネットで車内の様子や警官の対応を中継したことから警察への批判が高まり、司法省も捜査に協力を開始した。

\* 7月6日、オバマ大統領がホワイトハウスで演説し、アフガニスタン駐留米軍を2016年末までに5500人に減らす撤退計画を見直し、ほぼ現状の規模を引き続き駐留させる方針を明らかにした。

\* 7月6日、米国財務省が北朝鮮での人権侵害に関わっているとして、金正恩朝鮮労働党委員長ら政権幹部を金融制裁の対象に指定した。

\* 7月7日早朝、米国テネシー州のブリストンで黒人の容疑者ラキーム・スコット（37）がホテルや通行中の車両に向かって発砲したほか、駆けつけた警察官と銃撃戦を交わした結果、一般市民1人が死亡し、警察官を含む3人が負傷した。容疑者は黒人が被害にあった事件に不満を持って事件を起こしたと供述。

\* 7月7日、米国テキサス州ダラスの中心部で白人警官による黒人射殺に抗議する数百人規模のデモの警備をしていた警察官が相次いで狙撃される事件が発生、警官12人が撃たれて5人が死亡、一般市民も2人負傷した。容疑者である元陸軍軍人の黒人マイカ・ジョンソン（25）は単独犯で警官に射殺された。

\* 7月7日、チリで1973年のピノチェト独裁政権発足直後に活動家15人が殺害された事件の公式な捜査が始まり、事件に関与したとしてフアン・エミリオ・チェイレ元陸軍司令官が拘束された。

\* 7月7日夜、イラクの首都バグダッド北方のバラドで 武装集団がイスラム教シーア派の廟を襲撃し、少なくとも35人が死亡、60人が負傷した。

\* 7月8日、シリアの北部アレッポで反体制派がアサド政権の支配地域を砲撃し、子どもを含む民間人少なくとも25人が死亡、120人が負傷した。これに先立って政権側も反体制派を空爆。

\* 7月8日、南スーダンの首都ジュバでキール大統領派とマシヤル副大統領派の兵士による大規模な戦闘が断続的に発生、10日副大統領派報道官は「内戦にもどった」との認識を

示した。

\* 7月8日、シリア中部パルミラ東方の郊外でロシア軍のミル35Mヘリコプターが撃墜された。ロシア軍人2人が死亡。

\* 7月8~9日、NATOがポーランドの首都ワルシャワで首脳会議を開き、ロシアの軍事的脅威を抑止するとして、6月の国防相理事会で合意したバルト3国とポーランドへの4大隊4000人の展開を正式に決定した。またEUとNATOが共同宣言を発表、防衛分野での協力や欧州入りを目指す難民らへの対応で合意した。

\* 7月9日、北朝鮮が潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)とみられるミサイル1発を発射したが失敗した。米軍が8日に高高度迎撃ミサイルシステム「THAAD」の在韓米軍への配備を決めたばかりだが、SLBMの探知は難しい。

\* 7月9日、イラクのアバディ首相が「イスラム国」に支配されていた北部カイヤラの空軍基地を政府軍が奪還したと発表した。

\* 7月10日(日本)、第24回参議院選挙が実施され、自民56(121)、民進32(49)、公明14(25)、共産6(14)、維新7(12)、社民1(2)、生活1(2)、野党共闘4、)その他非改選(こころ3、元気2、諸派1、無所属7)。同日に実施された鹿児島県知事選挙では三反園訓氏(58)が勝利。

\* 7月10日、2日に行われたオーストラリア総選挙の下院選(小選挙区制、定数150)でターンブル首相がシドニーで記者会見し、「我々は選挙で勝利した」と勝利宣言した。10日現在、保守連合74、労働党66、その他5、未確定5。

\* 7月10日、オバマ大統領が就任後初めてスペインを訪れ、ラホイ首相と会談した。会談後の記者会見で「格差が広がり、人々が置き去りにされたと感じると、分裂を起こさせるようなポピュリズムが出てくる」と警戒心を示した。「米国内のポピュリズムとイギリスのEU離脱決定の投票などの間には関連性がある」と指摘した。

\* 7月10日、エジプトのシュリク外相がイスラエルを訪問しネタニヤフ首相と会談、2014年4月を最後に中断している中東和平交渉の再開を促すため信頼醸成を図る狙い。エジプト外相のイスラエル訪問は9年ぶり。

\* 7月10日、コロンビアのビジェガス国防相が同国中部ラウリペで国軍とFARCの部隊が衝突し、FARC側に複数の負傷者が出たと公表した。「衝突が起きたのは2日前でFARCのパトロール部隊が陸軍部隊と鉢合わせした」と説明。

\* 7月11日までにインドとパキスタンが帰属を争うカシミール地方のインド支配地域でインドからの分離を求めるデモ隊と治安部隊の衝突などで警官1人を含む計22人が死亡した。

\* 7月11日、カーター米国国防長官がイラクの首都バグダッドを訪問し、「イスラム国」がイラク国内で最大の拠点としている北部モスルの奪還に向けて米兵560人を追加派遣することを公表した。

\* 7月11日、キール大統領派とマシャル副大統領派による戦闘が再開した南スーダンの

首都ジュバで両派がともに自らの支配下の兵士に停戦を命じた。停戦は11日午後8時に開始される。

\*7月12日、米国の『ワシントン・ポスト』がオバマ大統領が「核兵器不使用」の宣言を含めた核軍縮策を検討していると報じた。同大統領は来年1月の人気末までに大統領令などで大胆な核軍縮・不拡散の方針を打ち出すことを模索している。

\*7月12日、南シナ海問題でオランダ・ハーグの常設国際仲裁裁判所が中国が独自の権利を主張する境界線「9段線」に国際法上の根拠はないとの判決を出した。提訴したフィリピンの主張をほぼ全面的に認める判決となった。

\*7月12日、シンガポールの裁判所がバングラデシュ人の被告4人に対して、同国でのイスラム過激派テロ計画のために資金を提供したとして、禁固2～5年の有罪判決を言い渡した。

\*7月13日、イギリスの首相に保守党党首のテリーザ・メイ（59）が就任し、主要閣僚を発表した。6月の国民投票で決まったEUからの離脱と国際貿易を担当する各省を新設し、強硬な離脱派を配置した。外相には離脱派のボリス・ジョンソンが指名された。

\*7月13日、シリアの中部ホムス県と北西部イドリブ県で、アサド政権軍か、同政権をH支援するロシア軍によるとみられる空爆が相次ぎ、少なくとも民間人31人が死亡した。

\*7月13日、ドイツ政府は国際的な安全保障や治安維持に積極的に貢献する方針を明記した新たな国防白書を閣議決定し、兵員や軍備の拡大方針を示した。

\*7月13日、トルコのユルドゥム首相が首都アンカラで開かれた与党・公正発展党（AKP）の集会で演説し、シリアとの関係正常化に意欲を示した。「よりよき未来派、隣国と調和した良好な関係を維持することでのみ可能となる」と強調。

\*7月14日夜、フランス南部のリゾート地ニースで大型トラックが花火の見物客の列に突っ込んで暴走、多数の子どもを含む84人が死亡し、100人以上が負傷した。オランダ大統領は「テロリストの犯行であることは否定できない」と発言。フランス検察は犯人の運転手の男はチュニジア生まれのニース在住のモハメド・ラウアイエジュ・ブレレル容疑者（31）と特定した。16日、「イスラム国」系のラジオ局「アルバヤン」が犯行声明、「十字軍の国々はどんなに治安部隊を廃止してもイスラム戦士の襲撃から免れることはできないと知るべきである」と述べた。

\*7月15日夜、トルコ軍の一部が国営メディアで「全権を掌握」したとする声明を出した。軍の一部によるクーデターと見られ、首都アンカラやイスタンブールに反乱軍が展開したが制圧された。軍将校2人・警察官41人・民間人47人などの計208人、反乱軍側は104人が死亡した。将校ら軍関係者2839人が拘束された。18日までの逮捕者は7643人で、うち軍人6038人、警察官100人のほか、755人の裁判官や検察官、600人の民間人など。

\*7月16日、イエメン紛争の終結をめざす協議がクウェート市で再開された。サウジアラビアが支援するハディ暫定政権側は不参加をほのめかしていた。

\* 7月16日、米国国防省のクック報道官がクーデター未遂事件を受けてトルコ当局が同国南部にあるインジルリル空軍基地の空域を封鎖したため、シリアとイラクの「イスラム国」に対する作戦が一時的に中断していることを明らかにした。

\* 7月17日、米国ルイジアナ州バトールージュで複数の警察官が銃撃される事件が発生し、3人が死亡、3人が負傷した。容疑者の元海兵隊員のギャビン・ロング（29）も銃撃戦で死亡した。

\* 7月18日、ドイツ南部のビュルツブルクで列車の中でアフガニスタン出身の17歳の難民が斧やナイフで乗客を切りつけ4人が負傷した。男は現場から逃走しようとしたところを駆けつけた警察官に射殺された。

\* 7月18日、米国のテロ組織監視団体SITEがブラジル人集団が通信アプリ「テレグラム」で「イスラム国」の指導者バグダディ容疑者への忠誠を表明したと公表した。

\* 7月18日、イギリス下院（定数650）が同国唯一の核戦力である潜水艦発射核ミサイルシステム「トライデント」の更新を賛成472、反対117で可決した。

\* 7月19日、北朝鮮が同国南西部から日本海に向けて弾道ミサイル3発を発射したことに関連し、韓国の韓民求国防省が国会における答弁で「北が韓国国内の先生と反対の論争を狙って挑発を行ったとみている」と述べ、米軍の超高度迎撃ミサイルシステム（THAAD）配備を巡って紛糾する韓国世論の分裂を狙った動きとの見方を示した。

\* 7月19日、インドネシア国家警察が「イスラム国」に忠誠を誓う国内グループ「東インドネシアのムジャヒディン（MIT）」指導者のサントソ容疑者が治安部隊によって殺害されたことを明らかにした。

\* 8月19日、「イスラム国」が支配しているシリア北部のトルコ国境付近マンビジで米国主導の有志連合軍による空爆で少なくとも56人の民間人が死亡した。

\* 7月20日、トルコ紙が同国政府が大学の学部長や教授、研究者に対して国外に出ることを禁じたと報じた。クーデター未遂事件後、軍や警察、司法関係者だけでなく、教育関係者の拘束も続いている。

\* 7月20日、南仏ニュースのトラック突入事件でフランス国民議会（下院）が非常事態宣言の6ヶ月間の再延長を賛成多数で可決した。

\* 7月21日、クーデター未遂を受けて3ヶ月の非常事態宣言が同国官報に掲載され、同日午前1時に発効した。

\* 7月21日、ブラジルのジモラエス法相が8月5日に開幕するリオデジャネイロ五輪中にテロを計画していた疑いでブラジル人10人を拘束したことを明らかにした。容疑者は「イスラム国」の思想に共鳴しており、当局が数ヶ月にわたり監視対象としていた。

\* 7月21日、イタリア沿岸警備当局がリビア沖でアイルランド海軍の艦船が移民を乗せた木造船を救助し、男性16人、少年1人の遺体を収容したと発表した。

\* 7月22日（日本）、沖縄防衛局が米軍北部訓練場（沖縄県東村など）の一部返還の条件として日米が合意したヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）の移設工事を再開した。抗議活動

を続けてきた反対派を警察が排除。同日、政府が普天間飛行場の同県名護市辺野古への移設問題を巡り翁長雄志県知事を相手取って地方自治法に基づく違法確認訴訟を福岡高裁那覇支部に起こした。

\* 7月22日、ドイツ南部の最大都市ミュンヘンの市内最大規模の「オリンピア・ショッピングセンター」で男（18）が銃を乱射し、9人が死亡、16人が負傷した。犠牲者の大半は外国籍や移民の背景を持つ若者だった。

\* 7月23日、アフガニスタンの首都カブールで少数派のイスラム教シーア派のハズラ人によるデモの会場で何者かが爆弾を爆発させ、80人以上が死亡、200人以上が負傷した。「イスラム国」が首都を標的にした初めての事件となった。

\* 7月23日、マレーシア警察当局が警察幹部を狙った爆弾テロを計画したとして20~49歳の男女14人をタほしたと公表した。

\* 7月24日夜、ドイツ南部のバイエルン州アンスバッハで開催中の野外音楽祭の会場入り口で爆発が発生し、1人が死亡、12人が負傷した。爆発物を炸裂させたシリア人の容疑者（27）は死亡した。容疑者は2年前にドイツに到着、難民申請をしたが却下されていた。同容疑者の携帯電話やパソコンからイスラム過激派に関する映像や「イスラム国」に忠誠を誓うビデオがみつかった。

\* 7月25日未明、米国フロリダ州フォートマイヤーズのナイトクラブで銃撃事件が発生し、少なくとも2人が死亡、16人が負傷した。

\* 7月25日、リビア西部サブラタ市当局が地中海沿岸で欧州渡航を試みた密航者とみられる87人の遺体を収容したと発表した。

\* 7月25日、トルコのエルドアン大統領と少数民族のクルド系政党を除くトルコ国会（550議席）の与野党3党首の緊急会談が開催され、会談後与党の公正発展党（AKP）党首のユルドゥム首相が「新憲制定法に向けた取り組みで野党党首と合意した」と述べた。

\* 7月26日朝、フランス北西部ルーアン近郊で刃物で武装した2人が教会に押し入り教会内に聖職者や信者ら5人を人質に取り立てこもる事件が発生。特殊部隊らが突入し、立てこもった2人を射殺した。27日、「イスラム国」系のネットメディア「アマル」が実行犯2人が「イスラム国」に忠誠を誓う様子を撮影した動画を公開した。

\* 7月26日、米国ペンシルバニア州で開催された民主党全国大会でクリントン前国務長官（68）が同党の大統領候補に正式に指名された。

\* 7月27日、シリアの少数民族クルド人が多く居住する北東部カミシュリで大きな爆発があり、44人が死亡、140人が負傷した。「イスラム国」系のネットメディア「アマク」は「クルド勢力の拠点を殉教者が攻撃した」と報じた。

\* 7月27日、トルコ軍がクーデター未遂事件について兵員の約1.5%にあたる8651人が参加したと発表した。

\* 7月27日、トルコのエルドアン政権が新聞やテレビなど計131社に政令で閉鎖を命じた。メディア側には自粛ムードが漂い、政権批判は影を潜めている。

\* 7月27日、スペインのカタルーニャ自治州議会（定数135）が州の独立を進めるための決議文を賛成多数で採択した。

\* 7月27日、米国のカーター国防長官がノースカロライナ州のフォートブラック陸軍基地でシリアでの「イスラム国」掃討作戦について、北部での反体制派の進軍支援に加え、「南部からもイスラム国に圧力をかける」と述べ、南部での攻撃強化を検討していることを明らかにした。

\* 7月28日、トルコのエルドアン大統領がクーデター未遂事件を受け、現在は首相府の指揮下にある軍最高機関の参謀指令本部と情報機関の国家情報機構について大統領府の指揮下に置くべきだとの考えを示した。この再編には憲法改正が必要になる。同日、野党3党のうち野党第1党の世俗派の共和人民党（133議席）と野党第2党のクルド人系の人民民主主義党（59議席）が反対を明確にした。

\* 7月28日、ブラジルのメディアがインターネット上で「イスラム国」への関心を投稿したとして警察当局がリオデジャネイロに居住する男性（28）をテロ容疑で拘束したと報じた。

\* 7月28日、イエメン大統領府高官がツイッターを通じて国連の仲介で4月に始まった和平協議は合意のないまま終了したと宣言した。

\* 7月28日、シリアの「ヌスラ戦線」がビデオ声明を発出し、アルカイダから離脱し「ジャブハト・ファタハ・アルシャム」に改名したと発表した。また、「いかなる外部組織とも関係を持たない」と強調した。同日、アルカイダは「ヌスラ戦線」の離脱を容認するとの声明を公開した。

\* 7月28日、「イスラム国」がシリア北部マンビジ北西部の数カ村をクルド人民兵主体のシリア民主軍から奪取後制圧し、少なくとも民間人24人を殺害した。

\* 7月28日、シリアのアサド政権が同国北部でロシア軍の支援を受けて攻勢を強めており、3ヶ月以内に投稿すれば御社を与えると発表した。同日、アサド政権とロシアは民間人らを脱出させる避難ルート「人道回廊」の設置を宣言した。

\* 7月29日、ブラジルの連邦裁判所が汚職事件を巡る捜査妨害の疑いをもたれているルラ前大統領（70）について検察による起訴を受理し、公判が始まる見通しとなった。

\* 7月29日、フランスのバルス首相が仏紙『ルモンド』とのインタビューで、海外からの資金援助によるモスク建設を一時的に禁止する措置を検討中だと表明した。

\* 7月30日、ベルギー検察は同国内でテロを計画した疑いで兄弟の男2人を拘束したと発表。検察は「2人はベルギーのどこかでテロを計画していた疑い」があると説明、詳細についてはあきらかにしていない。

\* 7月30日、トルコもエルドアン大統領が軍士官学校を閉鎖するとともに、軍を国防相の指揮下に置くと発表した。

\* 7月30日夜、イラクのオアベイディ国防相がテレビインタビューで、イスラム国が2014年から占拠している北部の要衝モスルについて、「イスラム国の幹部らは家財を売り

払って家族を連れてシリア方面に逃げ出している」と語った。

\* 7月31日（日本）、東京都知事選挙が実施され無所属で立候補した小池百合子（64）が291万2628票を得票して勝利、野党統一候補の鳥越俊太郎氏（76）は134万6103票で3位、2位は自公推薦の増田寛也（64）が179万3453票を得票。

\* 7月31日、イエメンのハディ大統領が同国の内戦終結に向けて国連の和平案を「受け入れる」と表明した。

\* 7月31日、ローマ・カトリックのフランシスコ法王がポーランド訪問からの帰途の機中で、欧州で相次ぐテロについて、「イスラム教と暴力を結び付けて考えるのが正しいとは思わない」と述べ、一部の原理主義者が暴力を実行しているに過ぎないとの考えを示した。

\* 7月31日、ブラジル各地において弾劾手続きで職務停止中のルセフ大統領の退陣を求める大規模なデモが実施された。リオデジャネイロでは「オリンピック反対」も訴えられた。

\* 7月31日、パキスタン東部パンジャブ州の州都ラホール近郊で銃撃戦があり、イスラム過激派7人が死亡した。警察は「パキスタン・タリバン」運動や「ラシュカレジャングビ」のメンバー。